

教師の過重労働改善策は



藤元 雅文 議員

で文科省の調査結果に近い勤務実態が報告されている。改善策として、学校行事の見直しや会議・実務の効率化、「ノー部活デー」を設けるなど適切な対応を図るよう指示している。

就学援助は、必要な時に必要な援助というのが基本だ。しかし、現状は入学準備金が入学後数ヶ月しかから支給されている。今回交付要綱が変更され、入学前の支給が可能になっ

就学援助・入学準備金の前倒しを

た。文科省からの通知も届いており、前倒し支給をすべきではないか。

不妊治療費助成制度創設に決断を

所得証明書の発行が6月1日以降でなければ難しいため、前倒し支給は困難である。ただ経済的に苦しい家庭もあり、支給時期を早められるかどうか検討したい。

昨年3月議会で質問したときは、実施自治体は12だったが、17に増えている。一步踏出すべきでは。

臨時職員の処遇改善は

文部省調査によると、小学校教師の約3割、中学校教師の約6割が過労死ラインを超えて勤務している調査結果が出た。教師の疲弊で被害を受けるのは、子どもたちであり、早急な抜本的対策が必要だ。本町、小中学校教師の労働時間の実態と改善策は。

藤元議員

役場職員の約3割以上が臨時職員であり、今や牟岐町の行政サービスは臨時職員なしでは成り立たない。よって、それなりの処遇改善が必要である。連続して任用(雇用)されている場合、労働基準法、総務省7・4通知に基づき年休の繰り越しを認めるべきではないか。

福井町長

引き続き任用した職員について、単年度契約のため、前年度に取得できなかった日数分の繰り越しはできないか、関係法令等に基づき検討したい。

交差点の改善を

正観寺方面から国道方面に直進する場合「何である通り方をしなければならぬのか」と、住民の不満や疑問の声がある。改善すべきでないか。

福井町長

ポールは、将来的に撤去が可能と聞いているが、県警本部からの指導であり、県の統一的なルールなので勝手に変えられない。



町道瀬戸川南線
新海部病院への交差点